

CASBEE® 広島

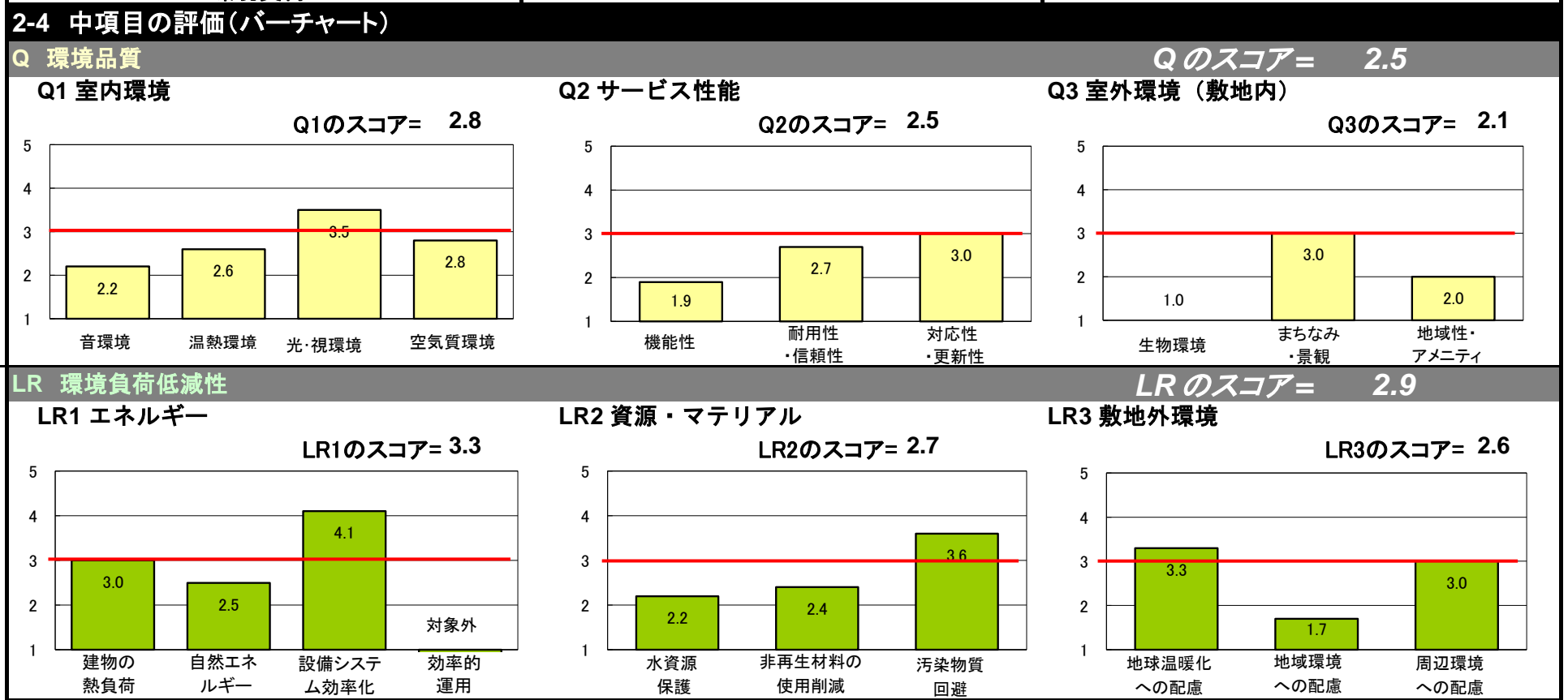
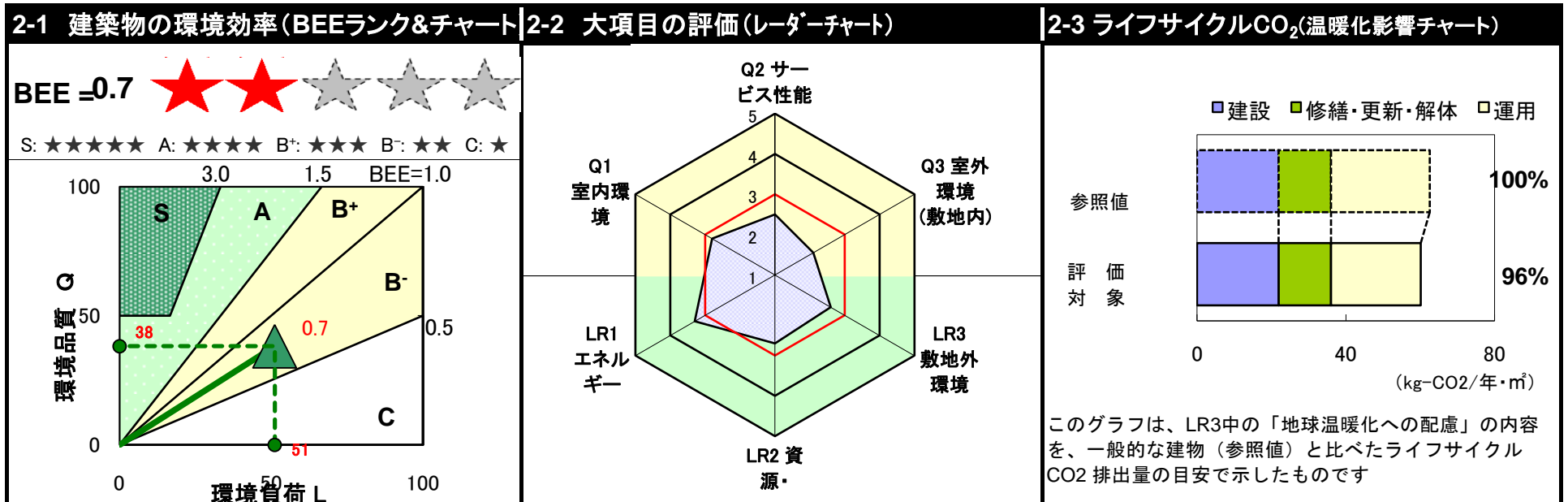
(2010年ver.1)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE広島 2009年版

■ベース評価ソフト: CASBEE-Ncb_2008(v.3.2)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	サンビレッジ鶴見 新築工事	階数	地上13F
建設地	広島市中区鶴見町13-14、13-39	構造	RC造
用途地域	近隣商業地域、準防火地域	平均居住人員	58人
気候区分	地域区分IV	年間使用時間	8,760時間/年
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2012年9月 予定	評価の実施日	2008年7月8日
敷地面積	395㎡	作成者	堀田 陽二郎
建築面積	216㎡	確認日	2008年7月10日
延床面積	2,189㎡	確認者	大江 和幸



3 広島市の重点項目

重点項目の総平均スコア = 2.7

「地球温暖化対策」の推進	「ヒートアイランド対策」の推進	「長寿命化対策」の推進
スコア = 3.0	スコア = 1.1	スコア = 2.8
設計の計画上特段に配慮した事項 省エネルギー対策等級3相当を設定する // ガス給湯設備を採用 // ライフサイクルCO2排出率が、一般的な建物と同等	設計の計画上特段に配慮した事項 / 適切な量の駐輪場及び駐車場を確保する	設計の計画上特段に配慮した事項 耐久性のある部材を使用する / 可能な限り、設備の躯体への打ち込みを行わない

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO2」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO2排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される